

支援者のための成年後見制度活用講座

使用テキスト ①『支援者のための成年後見活用講座 第3版』 ②『社会福祉士がつくる身上監護ハンドブック 第2版』
--

	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト		備考
						①	②	
1日目 (360分)	1 成年後見制度における権利擁護の視点	1 成年後見制度における権利擁護の視点を学ぶ。 2 そのために必要な倫理綱領・行動規範なども学ぶ。	90	講義	大輪典子(東京社会福祉士会会長・認定社会福祉士)			
	2 成年後見制度の基礎1	1 法定後見制度が成立した背景を学ぶ。 2 法定後見制度の内容について理解する。 3 申立手続から審判確定までの流れを理解する。	90	講義	額田洋一(弁護士)	○		
	3 成年後見制度の基礎2	1 成年後見人の権限(代理権、取消権、同意権) 2 成年後見人の義務 3 成年後見人の業務(財産管理、身上監護の具体的内容)	90	講義	額田洋一(弁護士)	○		
	4 任意後見制度の活用と留意点	1 任意後見制度の概要、利点と注意点について理解する。 2 最近の動向について学ぶ。	90	講義	平柳陽一(司法書士)	○		
2日目 (360分)	5 地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	東京都における地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)と成年後見制度の関係について理解する。	90	講義	東京都社会福祉協議会権利擁護担当者	○		
	6 民法概論	1 財産法の基礎を学ぶ。 2 家族法の基礎を学ぶ。	90	講義	中村順子(弁護士)			
	7 関連法の理解	司法福祉の概要と成年後見制度との関係を学ぶ。	90	講義	松友了(司法福祉委員会副委員長・社会福祉士)			
	8 消費者被害や悪徳商法への対応	1 消費者センターの機能と役割について理解し、支援者として専門機関と連携した対応がとれるように学ぶ。 2 消費者被害や悪徳商法の具体的な事例から、予防対策や被害を発見した場合のネットワークを利用した対応方法、被害回復についての対応方法を学ぶ。	90	講義	廣重美希(消費者被害アドバイザー)			
3日目 (270分)	9 意思決定支援の基本	1 権利擁護の基盤となる意思決定について理解する。 2 諸外国と日本における意思能力のとらえ方を理解する。 3 具体的な取組方法について理解する。	90	講義	星野美子(権利擁護センターばあとなあ東京・認定社会福祉士)		○	
	10 連携協議の実態と専門機関の役割	1 地域における連携協議の実態と専門機関の役割を理解する。 2 権利擁護の諸制度を活用した支援のあり方を学ぶ。	90	講義	永田隆(社会福祉士)			
	11 高齢者障害者虐待防止法の理解	1 高齢者虐待防止法成立の背景や目的、対象者など法的根拠を学ぶ。 2 障害者虐待防止法成立の背景や目的、対象者など法的根拠を学ぶ。 3 専門職団体や専門職の役割を理解する。	90	講義	高橋智子(地域包括支援センター委員会・社会福祉士)			
4日目 (360分・認証 以外は180分)	12 一般的な申立支援に関わる意思決定支援について	1 相談援助の場面において成年後見制度の必要性に気づく。 2 対象者に対して意思決定支援に配慮する必要性を理解する。 3 演習にて事例を用い、具体的な意思決定支援の方法がを修得する。	30+60	講義+演習	星野美子(権利擁護センターばあとなあ東京・認定社会福祉士)		○	
	13 一般的な申立支援に関わる意思決定支援事例の実際	事例を用いた演習を行うことによって視点を学ぶ。	90	演習	〃		○	
	14・15 一般的な申立支援に関わる意思決定支援事例の実際(認証)	1 事例を用いた演習を行うことによって具体的なツールの活用について理解する。 2 事例を用いてツールを使い、意思決定支援へ向けた関係機関との連携、それぞれの機関の役割を理解する。	180	演習	〃		○	